



保護者と下の子グループ

5回目の活動は前回に続いて乳児クラスに行き「下の子」の関わり方、手伝い方を学ぶに行きました。乳児クラスに行く前に前回、手伝ったことを思い出して今回は他にどのようなことが出来るのか考えました。それぞれ前回と違うクラスに行きましたが一人ひとり恥がれさや戸惑いの様子はあまり見られず積極的に関わっていました。乳児たちと一緒に過ごした後皆で振り返りをしました。「泣いている子がいてどうしたらいいかわからなかった」「赤ちゃんは喋られへんから顔を見て(気持ちに)気付いてあげる」等疑問点や気付いた点を皆で共有しました。今後は実際に「下の子」と一緒に過ごした経験を通し劇遊び会の中でどのような「下の子のお手伝い」が出来るのか考えていきたいと思えます。又、お手伝い隊だけでなく下の子への意識が高まり自ら関わっていくという思いの芽生えにも繋がってもらえればと思います。



人見知りのため泣いてしまうひよこ組の子と、少し困りつつも優しく声を掛け寄り添っています。



部屋に帰りに帰らないと泣きだす乳児と一緒に「一緒にいこう」と手を引く様子が。



年長児たちから声を掛けられ立ち上がり一緒に2階へと上がっていました。

(定立)

どうぐグループ

今回の活動は「次にどんな道具を作るか」「掃除」の話しました。前回のドキュメンテーションでもお伝えしたように「作っても使ってもらえなければ嫌やん」という思いが子どもたちにあったので全学年にリサーチをしに行きました。子どもたちと「どのクラス行く?」と相談し、グループにわかれて聞きに行きました。意見をまとめてどれが多いかを見た所、「草が多いな!」「花もや」など、必要な道具が見えてきました。次回は、草や花なども作っていきます! 道具グループは園内の掃除をすることも最初の話し合いの時決めていました。お手伝い隊の時間での掃除は時間や人手が足りないことに気付いた子どもたちは「全クラスに手伝ってもらおう」とみんな掃除することを提案してくれました。場所はホールや神社・園庭などありますか? まずは今週中に「園庭掃除しよう!」ということになりました! 「ほくたからリターンになって掃除やしたな!」とやる気満々の子どもたちでした! 塩飽



「しんぼんの作り方をこのお母さんに教えたいよ。」

司会グループ

5回目の活動は... このお母さんの子どもたちは

「しんぼん作り」、ひまわり組の子どもたちは道具グループとあそびグループへインタビューに出かけました。しんぼん作りをする前にどうやって作るか考えてもらったり、インタビューはどんな質問がいいか聞いて、お互い教え合っています。このお母さんの「しんぼん作り」は... まず「誰か」の文字を書くのが話し合い、「これは長い文やから、半紙」と分け合って書く姿もありました。写真を貼る際には、「これは何の写真、何の頭に貼るのかわかるか?」と考えるが作りかたの「インタビュー」は... 自分のお手伝いをしているのか紙に書いて、「何を作っているのか?」聞いてみました。その後、紙に書いたものを1つにまとめました。お母さん、子どもたちが書いた「しんぼん」を持ち帰るのを楽しみにして下さい。

どうぐグループにインタビュー



どんな事をしているのか書いています。



しんぼん作り 字や写真を貼ったり、絵を描きました。



どのクラスに行く?



掃除の場所の話し合い

△ 劇あそび会で必要な道具はありますか?

ヒビ嘉